



SESERAGI—MISHIMA ROTARY CLUB WEEKLY REPORT

クラブ
週報

2021～2022年度 RI会長 シェカール・メータ
RIテーマ 奉仕しよう みんなの人生を豊かにするために

クラブテーマ「会員の健康と地域リーダーの育成、
そしてロータリーの基本、規律を大切に」

会長 米山晴敏 幹事 仲原実圭

第1493回 例会 2022.3.11(金)晴

事務所 三島市泉町9-8 1F南
TEL.055-976-6351 FAX.055-976-6352

<http://www.seseragi-mishima-rc.gr.jp>

せせらぎ三島ロータリークラブ

検索

例会場 呉竹

TEL.055-975-3210
毎週金曜日 第1・第3 夜間例会

会長挨拶

会長 米山晴敏君



こんにちは、『あけましておめでとうございます』と年頭の挨拶の人もいます。

コロナ、デフレ傾向、物品の延滞、国際情勢の悪化、など世の中の雰囲気の中、また、まん延防止の中で例会へ出席して頂き、ありがとうございます。

のちほど、1月から先週まで休会中にもかかわらず活動して頂いた、幹事や各委員会からの報告と説明があります。活動内容をクラブ会員、全員で共有をして頂きたいと思っております。

2620地区はウクライナ災害救援補助金としてDDF次年度繰越金の中から4万ドルを寄贈しました。

テレビで目にする、ポーランドでのウクライナ難民支援にポーランドのロータリーアクトやロータリーの仲間がボランティア奉仕活動に参加していると聞きました。

ロータリー財団は人道的危機への対応として、ロータリー会員が寄付する事ができる正式な窓口として災害救援基金を指定しました。

寄付金については4月第1週の例会で詳しく説明させていただきます。

ロータリーアクトの説明をしたいのですが、時間短縮で会長挨拶は3分にするように言われていますので、又の機会にお話します。

最後に、来週も同じように短縮例会を行います。

感染予防と健康に留意して頂くようお願いいたします。

出席報告

| | 出席総数 | 出席率 | マークアップ | 修正出席率 |
|-----|-------|--------|--------|-------|
| 前々回 | | | | |
| 今回 | 17/29 | 58.62% | 会員総数 | 32名 |

欠席者 あなたが見えなくて残念でした。

石井(和)君、石井(司)君、伊丹君、遠藤君、小林君、篠木君、土屋(和)君、仲原君、野村君、原君、矢岸君、山口(雅)君
(*出席免除会員の欠席者 片野君、中村君、山本君)
※お手元に届いた会報を読むことで例会出席となります。



スマイルボックス

山口辰哉君:11年前の今日も確か金曜日でした。ということは例会もあった。でもそのことは全く覚えていません。コロナが収束したら三陸鉄道の「おすすめコース」でも楽しみたいと思います。でもその前にウクライナに平和を!!!

藤川智徳君:色々な件でスマイルします!

大庭靖貴君:久しぶりの例会にスマイルします。

仲原実圭君:本日は欠席して申し訳ありません。

鈴木俊也君:天気が良いです!スマイルします。

高村勝則君:久々の例会、皆様に会えて良かったです。スマイルします。

加藤正幸君:東日本大震災より11年経過。決して忘れないで行きましょう。明日は我が身と思って行動しましょう!

大村典央君:日大三島野球部への寄付にご協力下さいましてありがとうございました。明日、あしたか球場でボールの贈呈をおこないます。

野村諒子君:今日は東日本大震災が起きた3月11日です。災害も戦争も子ども達や高齢者など弱い人が一番影響を受けます。そんな人達を思いやる心を持ちたいですね。3月26日(土)上岩崎公園桜まつりをよろしくお祈りします。

国際ロータリー 第2620地区より

ウクライナ災害支援補助金としてDDF4万ドルを寄贈

皆様も報道でご存じの通り、すでに200万人以上がウクライナから避難し、難民問題が深刻化し、緊急支援が必要となってきています。国際ロータリーは「平和」を使命とする世界最大の人道支援団体の一つであり、困難な時にこそ行動を起こす人びとからなる組織です。この状況下、ロータリー財団は2022年4月30日まで「ロータリー災害救援基金」への寄付を、影響を受けている地区への災害救援補助金を通じて支援することを決定しました。これは、難民に対する水、食料、医薬品、シェルター、衣類の供給に使用されます。

2620地区は、ロータリーの使命の基この趣旨に賛同し、3月8日にウクライナへの災害救援補助金として、ロータリー財団の地区財団活動資金(DDF)の次年度繰越分の中から40,000ドルを寄贈いたしました。このDDFは2620地区ロータリアンの一人一人の年次基金と恒久基金によって支えられているものです。このような緊急支援が必要な時に当地区が迅速に行動できること、改めて皆様に感謝すると共に、みなさまの奉仕・支援の真心がウクライナの難民の方に少しでも助けになればと考えております。

また、クラブまたはロータリアン個人もロータリー財団に寄付することができますので、こちらのお取り扱いもよろしくお願いいたします。

避難される方々の人数はこれからも増え続けることが予想されておりますので、現地の皆様に一日でも早く役立つ支援につながることを切望しての今回のDDF寄付とご理解くださいますようお願いいたします。

RI会長メッセージ

この2年間で、私たちは数多くの難題を解決し、数多くの人びとの人生をよりよく変えてきました。今年、皆さんが「Each One, Bring One (みんなが一人を入会させよう)」イニシアチブを通じてロータリーの成長に全力を尽くしてくださったことを、私は心から嬉しく思っております。おかげで会員数は大きく伸びました。この勢いに乗りましょう。また、ロータリー奉仕デーには世界中でロータリーの活動を紹介するプロジェクトを企画されたのも嬉しく思います。140万の会員を擁するロータリーの未来は、これまで以上に明るく光りかがやいています。

2020年3月11日に世界保健機関が新型コロナウイルスのパンデミックを宣言してから2年が経ちます。その今、疾病予防と治療というロータリーの重点分野における専門知識を活用し、パンデミックにあえぐ世界中の人びとの援助を今後も続けていくことが肝要です。パンデミックは私たちのあらゆる想定を超えつつありますが、恐れをなして立ちどまってはなりません。ロータリーの活動はあまりにも重要です。お互いのために時間をとることもまた大事です。ヒューストンで開催される2022年ロータリー国際大会にぜひご参加ください。安全に配慮しつつ、みんなでロータリーの奉仕活動を称える素晴らしい機会です。

ロータリーは、リソースを活用して恵まれない人びとを助け、未来を信じつづけることで、これからも世界に希望と平和をもたらすつづけます。パンデミックの特に大きな影響を受けているのは、世界中の女児です。パンデミック宣言から1年となる日に、UNICEF(国連児童基金)事務局長のヘリエッタ・フォアさんは「女児とその家族の被害軽減は喫緊の課題」と語っています。残念ながら、それから1年経ってもこの問題は依然として解決されていません。パンデミックは女児特有の被害をもたらしました。学業不振、就職の見込みの悪化、それに児童婚や人身売買の増加などの悲惨な結果を招いています。UNICEFによるデータは、なぜ対策が必要かを如実に物語っています。2010年代には児童婚の撤廃に向けて大きな進歩が見られ、UNICEFの推定では全世界で2500万件の児童婚が回避されました。残念ながらパンデミックによりせっかくの成果も空しく事態は後退し、2019年の終盤には児童婚のリスクがある女児の数が1000万増加という結果に。だからこそ、女児のエンパワメントは非常に重要な活動なのです。今年の国際協議会ではうれしいことにジェニファー・ジョーンズ会長エレクトがこのイニシアチブの1年間延長を明言しました。世界中を旅する中で、女児のエンパワメントの目標達成を支える素晴らしいプロジェクトをクラブが実施している数多くの例を目にしました。しかし、本当の変化は何年にもわたり尽力してこそ可能だということは、ロータリーの一人なら誰でも知っているところです。それこそ、グローバル補助金や重点分野プロジェクトのなせる業なのです。

補助金プロジェクトを計画する際には、ぜひ変革的な女児のエンパワメントを検討してください。女児の教育、医療、経済的機会を向上させるために何か手を打てば、女児が持てる力を発揮できるように大きな後押しをすることになります。機会があれば希望が生まれ、希望が生まれれば世界中の紛争の根本原因に対処でき、持続可能な平和の土台が築けます。新型コロナウイルスの蔓延があつと何年続くかは誰にも分かりません。世界が今後どのような困難に直面することになるかは、ポリオ根絶に向けて何十年も根気強く活動してきた団体としてロータリーがほかの誰よりもよく理解しています。だからこそ、この先も未来を見据えて、何が可能かということ、つまり、かつての生活様式を懐かしむのではなく、このパンデミックを「みんなの人生を豊かにするために奉仕する」チャンスとして活かす未来を心待ちにするべきなのです。この素晴らしい活動を皆さんと今後も続けられることを光榮に思います。

幹事報告

杉山順一君

①蔓延防止の中、各委員会はコロナ対策を行いながら活動を続けています。各活動で皆様さまからの会費である予算を使う為皆様の理解をえなければなりません。その為3月18日の例会を今回同様行うのか、又蔓延防止明けの4月1日から例会を行うのか皆様の意見をお聴かせ下さい。皆様の意見を確認した上3月18日例会は今回同様時間短縮にて、お弁当というかたちで実施しますのでよろしくお願ひします。

②日大三島高等学校甲子園出場にあたり寄付の件、詳細は決まり次第報告いたします現時点で3月12日に贈呈を行う予定です。後ほど詳しい事は後ほど服部光弥君より報告して頂きます。

③本日の蔓延防止の中、半強行的に例会を開催させて頂きました。今回の例会に関しては、出席委員会様と打合せをさせて頂き欠席扱いにはしません。